

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択）

事後評価結果（公表用）

| 番号 | 研究名 | 研究代表者 | 評価 |
|---|--------------------------------|------------------|----|
| 24-1 | 都市圏交通調査・分析・予測手法のプラットフォームの構築と実装 | 熊本大学 准教授 円山琢也 | B |
| <p><研究の概要> ※成果報告レポートより引用</p> <p>スマートフォン上のアプリを使用した交通行動調査の実用化を目指して、平成24年度秋の熊本都市圏PT調査と連動した回遊調査等を実施し、既存調査手法との比較や分析を行うことにより、高度な交通需要予測手法の実用化のための基礎的検討を行った。</p> <p><事後評価結果></p> <p>実務展開のために引き続き研究する必要があるものの、先進的なスマホ型交通調査をPT調査と同時に実施することで両調査の比較分析を行い、スマホ型交通調査の留意事項（ガイドライン案）を整理できたことの意義は大きい。研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究申請時点で計画されていた「都市圏交通調査・分析・予測手法のプラットフォームの構築」に向けて研究を継続していただきたい。また、開発されたソフトや収集データを研究者コミュニティの中で共有できることが、今後の発展のために有効ではないかと考えられる。 2. 今後は、サンプリングに対する統計的裏付を明らかにし、偏りの生じうるサンプルを用いた分析方法についても、引き続き検討していただきたい。 | | | |

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第27回新道路技術会議において審議したものである。